



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6251

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日 2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	71,943	△5.4	2,904	△39.0	1,888	△57.7	3,731	△15.0
2019年3月期第2四半期	76,081	12.3	4,761	24.3	4,464	43.2	4,392	20.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,650百万円 (△79.7%) 2019年3月期第2四半期 8,116百万円 (82.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	158.32	—
2019年3月期第2四半期	186.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	226,284	89,155	39.4
2019年3月期	223,528	89,038	39.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 89,155百万円 2019年3月期 89,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	65.00	115.00
2020年3月期	—	45.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 現時点では、2020年3月期の期末配当は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	△0.0	8,100	△9.1	6,400	△17.8	7,800	△16.5	330.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	23,970,679株	2019年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	403,898株	2019年3月期	403,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	23,566,894株	2019年3月期2Q	23,567,187株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2019年10月31日（木）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日までの6ヶ月間）の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、船舶の解撤を上回る新造船の供給圧力が見られましたが、底堅い輸送需要に支えられ、船腹の需給バランスは大型船を中心に改善傾向を維持しました。ケーブサイズ型撒積船（18万重量トン型）市況は、期首に大底を打った後に回復基調が続くなか、中国の旺盛な鉄鉱石需要を背景とした豪州やブラジルからの輸送需要の高まりが市況を一段と押し上げ、9月初旬には日額3万8千ドルに達し、第2四半期は高い水準で推移しました。また、パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）は、第2四半期のケーブサイズ市況上昇の影響に加え、南米東岸積み穀物・東南アジア積みのニッケル鉱石や石炭などの輸送需要が市況を牽引し、堅調に推移しました。タンカーにつきましては、夏場の需要減退期を迎えたものの、VLGC（大型LPG運搬船）市況は、サウジアラビアの石油関連施設への攻撃などによる先行きの不透明感などが市況を支える結果となり、夏場以降も高い水準で推移しました。このような状況下、継続的な事業基盤強化に加え、市況回復の効果取り込みを通じて収益向上に努めましたが、来年1月から実施されるSOx排出規制強化に対応すべく大型船を中心としたスクラバー搭載工事を当初計画に沿って進めたため、当社運航船の稼働率が低下したことから、前年同期比で減収減益となりました。

内航海運事業において、ドライ貨物につきましては、夏場の台風の影響が例年以上に船舶の稼働及び荷動きに影響し、副原料・鋼材を中心とする鉄鋼関連貨物の輸送量は前年同期比で減少しました。一方、セメント関連貨物は前年同期並みの輸送量を確保しました。タンカーにつきましては、LNG輸送は、省エネ化の進展により需要が減少するなか効率運航に努め、輸送量は前年同期を上回りました。LPG輸送は、石油化学品輸送が好調な国内需要を受けたものの、民生用は、夏期需要減退期を迎えたことや一部輸送契約の終了、工業用は内需低迷の影響を受けたことにより、全体的な輸送量は前年同期を下回りました。このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収減益となりました。

燃料油価格につきましては、当第2四半期連結累計期間の平均消費価格がトン当たり約439ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約10ドル上昇しました。また、対米ドル円相場は期中平均で109円50銭と、期初の見込み110円と比べ50銭高、前年同期比では17銭の円高となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は719億43百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は29億4百万円（前年同期は47億61百万円の営業利益）、経常利益は18億88百万円（前年同期は44億64百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億31百万円（前年同期は43億92百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,262億84百万円となり、前連結会計年度末比27億56百万円の増加となりました。このうち流動資産はたな卸資産やデリバティブ債権の減少等により、54億25百万円減少しました。固定資産は船舶や建設仮勘定の増加等により、81億80百万円増加しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、26億38百万円増加の1,371億28百万円となりました。流動負債は主として短期借入金の増加により124億19百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により97億81百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加、繰延ヘッジ損益の減少によるその他の包括利益累計額の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加し891億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	151,000	151,000	0	0.0%
営業利益	8,100	8,100	0	0.0%
経常利益	6,400	6,400	0	0.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,800	7,800	0	0.0%

※前回予想（2019年7月31日）及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=108円	US\$=108円
燃料油価格	US\$435/MT	US\$435/MT

第2四半期連結累計期間の業績、および第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2019年7月31日付で公表した2020年3月期通期の連結業績予想を上述の通り据え置きます。第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を108円、燃料油価格はトン当たり435ドル、来年1月から実施されるSOx排出規制後に使用する適合燃料油価格はトン当たり680ドルと予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,308	21,592
受取手形及び営業未収金	15,674	15,920
有価証券	4,500	3,000
たな卸資産	7,143	5,363
前払費用	2,851	3,064
デリバティブ債権	3,658	1,481
その他流動資産	1,147	1,436
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	57,261	51,837
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	136,112	141,048
建物（純額）	445	435
土地	703	703
建設仮勘定	16,515	20,304
その他有形固定資産（純額）	75	68
有形固定資産合計	153,849	162,558
無形固定資産	2,594	2,575
投資その他の資産		
投資有価証券	3,908	3,320
長期貸付金	31	29
繰延税金資産	3,816	3,857
退職給付に係る資産	1,501	1,548
その他長期資産	569	561
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,823	9,314
固定資産合計	166,267	174,447
資産合計	223,528	226,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,764	5,786
短期借入金	16,464	29,656
未払金	138	908
未払費用	295	251
未払法人税等	601	340
前受金	1,578	1,527
賞与引当金	439	420
役員賞与引当金	69	10
デリバティブ債務	3,672	3,758
その他流動負債	2,120	1,903
流動負債合計	32,140	44,560
固定負債		
長期借入金	97,337	87,525
繰延税金負債	1,823	1,649
特別修繕引当金	3,047	3,233
退職給付に係る負債	140	159
その他固定負債	3	3
固定負債合計	102,350	92,569
負債合計	134,490	137,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	62,394	64,593
自己株式	△994	△994
株主資本合計	88,881	91,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△450
繰延ヘッジ損益	△9	△1,602
為替換算調整勘定	△124	△147
退職給付に係る調整累計額	307	274
その他の包括利益累計額合計	157	△1,924
純資産合計	89,038	89,155
負債純資産合計	223,528	226,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	76,081	71,943
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	68,504	66,176
売上総利益	7,578	5,767
一般管理費	2,816	2,863
営業利益	4,761	2,904
営業外収益		
受取利息	39	44
受取配当金	71	103
持分法による投資利益	—	22
為替差益	452	—
その他営業外収益	45	50
営業外収益合計	607	219
営業外費用		
支払利息	862	727
持分法による投資損失	1	—
為替差損	—	328
その他営業外費用	42	181
営業外費用合計	904	1,235
経常利益	4,464	1,888
特別利益		
固定資産売却益	995	2,802
特別利益合計	995	2,802
特別損失		
用船解約金	495	50
特別損失合計	495	50
税金等調整前四半期純利益	4,963	4,641
法人税等	572	910
四半期純利益	4,392	3,731
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,392	3,731

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,392	3,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	△433
繰延ヘッジ損益	3,546	△1,593
為替換算調整勘定	△59	△1
退職給付に係る調整額	△27	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△21
その他の包括利益合計	3,724	△2,081
四半期包括利益	8,116	1,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,115	1,650
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,963	4,641
減価償却費	7,411	7,145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△19
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△59
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△259	193
退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債の増減額	△83	△75
受取利息及び受取配当金	△110	△147
支払利息	862	727
為替差損益 (△は益)	△86	80
持分法による投資損益 (△は益)	1	△22
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△996	△2,802
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,693	△246
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,678	1,779
営業債務の増減額 (△は減少)	2,722	△977
未払金の増減額 (△は減少)	△1,042	66
その他	1,039	△780
小計	10,975	9,503
利息及び配当金の受取額	300	262
利息の支払額	△929	△735
法人税等の支払額	△502	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,844	8,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
船舶の取得による支出	△9,323	△28,042
船舶の売却による収入	8,860	15,577
その他の固定資産取得による支出	△145	△115
その他の固定資産売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
その他	42	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567	△12,581

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	—
長期借入れによる収入	—	18,950
長期借入金の返済による支出	△10,420	△15,322
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△2,003	△1,531
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
その他	△13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,487	2,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△83
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,160	△2,216
現金及び現金同等物の期首残高	27,276	26,738
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,117	24,522

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	63,969	11,861	75,831	251	76,081	—	76,081
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	154	158	△158	—
計	63,969	11,866	75,835	405	76,240	△158	76,081
セグメント利益 又は損失(△)	3,858	919	4,776	△22	4,755	7	4,761

(注) 1. 「その他」の区分には、陸運業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	59,884	12,059	71,943	—	71,943	—	71,943
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	6	184	190	△190	—
計	59,884	12,066	71,949	184	72,133	△190	71,943
セグメント利益 又は損失(△)	2,520	385	2,905	△2	2,904	1	2,904

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。